

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20・23	利用者との関係継続を行なうことから、回想法につなげたり、利用者本人の生きがいづくりを、本人の思いや意向からつなげていけるように取組まれる事も良いと思います。	外出や外泊が思うように実施出来ない方に対し、回想法を取り入れ、馴染みの関係を途切れさせないようにする。 また、本人の意向から「生きがい」や「生きる目標」を設定し、それを達成するための個別活動を実施していく。	本人から意向を聞きとる際、「生きがい」や「生きる目標」も可能な限り聞き取り、一緒に目標を設定し、日々の生活のモチベーションとなるよう働きかける。また、馴染みの人に会った時や場所に出かけた時の写真、また古い写真や、交流されている手紙やはがきから、思い出話を職員と共有し、馴染みの関係の存在を定期的に思い出すよう個別の活動を実施する。	10ヶ月
2	35	地域との連携については運営協議会の機会を利用されることを検討下さい	災害対策に関して、地域との協力体制を築くことができる。	運営推進会議等で地域の住民と情報交換する機会を活用し、地域の集まりに出向いて関係作りをすることから始める。	10ヶ月
3					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。